

7. 支援

- ◆『 会員・ご寄付・募金のお願い 』
天然記念物奈良のシカたちを守るために。ぜひ、奈良の鹿愛護会の保護活動をご支援ください。

会員になる



年会費

※年度毎の更新4月～翌年3月
何口でもお申しいただけます

会員会費/年度

	個人会員	法人会員
1口	3,000円	5,000円
2口	6,000円	10,000円
3口	9,000円	15,000円
5口	12,000円	20,000円

主な会員特典 ①イベント・行事の特典
(鹿の角きり行事)
※2025年「子鹿公開」イベントは
鹿苑改修工事のため中止とさせて
いただきます。
②対象施設の割引特典他
※詳細はホームページをご覧ください。

募金をする



活動全般への募金

皆様と一緒に、奈良のシカの保護活動を支えて
いただく支援をお待ちしております。
また、イベント・行事等で募金箱を見かけましたら、
ぜひご支援をお願いいたします。



【紙製募金箱】



【募金型自動販売機】

寄付をする

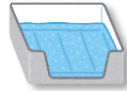


活動全般へのご寄付

奈良のシカの保護活動に活用させていただ
きます。継続的なご寄付をお願いいたします。

(ご寄付の事例)

5,000円で、
救護用使い捨てシート
13.7日分



10,000円で、
救護個体輸液 46回分



30,000円で、
骨折用ギプス 30回分



牧草協賛金へのご寄付

鹿苑に救護される傷病鹿等の
牧草代のご寄付です。

※何口でもお申しいただけます

1口 1,000円～

(事例)

5,000円で、牧草40.9kg分

10,000円で、牧草81.9kg分

30,000円で、牧草245.9kg分

ご支援の皆様からご支援
いただいた牧草24,672食
分を鹿苑の鹿たちに食べて
いただきました。
(※速報値 2025年2月末)



「奈良公園観光地域活性化基金」からのご寄付

奈良県が支援する基金からのご寄付です。



■ご寄付の流れ

(1)納付書の入手して必要事項の記入
※奈良県奈良公園室もしくは当会までお問い合わせください。

↓
(2)「指定金融機関窓口」にて寄付金を納付
※指定金融機関は、納付書の裏面に記載されております。

↓
(3)ご支援下さった方に、お礼のプレゼントをお送りします！
※お名前等のご紹介欄でご同意いただいた方のみになります。
また、発送までには少しお時間をいただいておりますので、予めご了承
のほどお願い申し上げます。

※ご寄付に対するお礼状やプレゼントを希望しない場合は、
申込書用紙⑤事業主体へのお名前等のご紹介について
欄の「同意しない」に〇で囲んでください。



【事業番号4】
天然記念物
「奈良のシカ」の
保護育成事業



※寄付者のメリット(確定申告が必要)
(個人)
住民税:税額控除を受けることができます。
所得税:所得控除を受けることができます。
(企業)
寄附金の全額を損金算入として取り扱うことができます。

お手順の方法

①【クレジットカード】 ※VISA、MASTERカードがご使用可能です。

ウェブサイトからのお申し込みを、ぜひご利用ください。事務経費の節減につながり、より多くのご支援を保護活動に充てることができます。
※お手順の際は、お客様情報必須項目のご入力にご協力いただきますようお願い申し上げます。



②【郵便局(ゆうちょ銀行)】

払込用紙(赤色)をご希望の方には、郵送いたしますので、当会までご連絡ください。

※通信欄にご入金の名目・内訳等をご記入ください。

※ゆうちょ銀行の通常払込は、手数料無料の払込用紙(赤色)でも現金振込の場合、手数料料金が発生します。詳しくはゆうちょ銀行窓口にてご確認ください。

ゆうちょ銀行 記号番号 01040-9-2260
一般財団法人奈良の鹿愛護会



『 どんぐり 』のご寄付

鹿苑に保護されている鹿たちの食料の一つとして、ぜひ皆さまのご支援をお願い致します。

◎「どんぐりの種類」シイ、カシ、ナラ、クリ等 ※どんぐりでしたら、なんでも構いません。
持込以外でも、宅急便・ゆうパック等でも受付しております。



2024年度のご報告
(2025年2月まで)
のべ943人/ 約15トン
12,295食分が集まりました。



発行：一般財団法人奈良の鹿愛護会
〒630-8212 奈良県奈良市春日野町160番地1
TEL0742-22-2388 https://naradeer.com



鹿瓦ばん



<主な項目>

P1・・・1. トピックス
P2・・・2. 保護活動 3. 鹿苑(ろくえん) ～奈良のシカの保護拠点から～
P3・・・4. 現状と課題 5. 生息環境保全活動 6. 関係機関との協働啓発活動
P4・・・7. 支援 『会員・ご寄付のお願い』

1. トピックス

◆『 不用意に子鹿に近づくとかわねトラブルにつながります! 』

注意!

奈良公園に生息するシカは、5月上旬から子鹿が誕生する
シーズンを迎えます。奈良の鹿愛護会では、出産を控えたお母
さん鹿が安心して出産・子育てができるように、4月から鹿苑
に一時的に保護していますが、奈良公園内の全てのお母さん
鹿を保護しているわけではなく、奈良公園内で出産・子育てを
するお母さん鹿もいます。
出産後のお母さん鹿は母性本能がとても強く危険です。子
鹿は小さくて可愛らしく、つい近づきたくなりますが、近づくと

母性本能が強いお母さん鹿は、大切な子鹿を守るために
猛烈な勢いで攻撃してきますので、厳重に注意してくださ
い。
もしも、人が子鹿に触ってしまうと、子鹿に人の匂いが付
いて、お母さん鹿が子育てをしなくなることがありますので、
子鹿を見かけても近づいたり、触ったりせずに、そっと見
守ってください。
皆さまのご理解ご協力よろしくお願いします。

◆『 母子鹿一般公開 』の代替開催

『特別公開「子鹿公開 赤ちゃん鹿大集合!」』は鹿苑改修工事のため、代替公開として昨年同様『母子
鹿一般公開』として開催します。今年誕生の可愛い子鹿たちは、皆様のお目にかかることを楽しみに
しております。
📅 2025年6月1日～7月14日(無休) ※荒天中止 📄 料金は無料 ※鹿苑協力金1人/100円
(ご協力いただける範囲・任意)
🕒 10:00～16:00



NEW!

◆『 なつの鹿寄せ 』

鹿寄せは、ナチュラルホルンの音色で鹿を呼び寄せる奈良の風物詩として親しまれています。
自然豊かな場所でご予約不要・無料でご観覧いただける日程は次の通りです。

「なつの鹿寄せ」 ※開催日程は、予定のため変更する場合がございますので予めご了承下さい。

📅 2025年7月6日、13日、20日、27日/8月3日、10日、17日、24日、31日(すべて日曜日)
🕒 9:30開始(1日1回のみ) ※小雨決行・荒天中止
主催(公社)奈良市観光協会



◆ 令和7(2025)年 伝統行事古式「鹿の角きり」の開催日程変更

例年10月開催の「古式 鹿の角きり」は、令和7(2025)年から、11月開催となりました。
詳細は下記のとおりです。受け継がれる奈良の伝統行事のご観覧をお待ちしております。

📅 2025年11月8日(土)・9日(日) ※雨天中止、順延なし
時 間:11:45～15:00(最終入場14:30)
場 所:鹿苑 角きり場
観覧料:大人1,000円 小学生500円(すべて税込)



発行：一般財団法人奈良の鹿愛護会
〒630-8212 奈良県奈良市春日野町160番地1
TEL0742-22-2388 https://naradeer.com



2. 保護活動

◆ 「奈良のシカ」と人との共生を未来につなげるために

奈良の鹿愛護会は、天然記念物「奈良のシカ」の保護育成のため、種の保存継承と保護思想の普及を図り、鹿と共生する地域社会づくりの推進に寄与することを目的とし、次の活動を行っています。

【主な取り組みの実績概要】

「奈良のシカ」を学ぶ～広報啓発～

毎年6月11月は「奈良のシカ愛護月間」と定め、「奈良のシカ」の関心と理解を深める啓発活動を行っています。

奈良のシカ愛護月間特別企画 2024年度「奈良のシカ」シンポジウム ～1000年先の未来につなぐ～

開催日：令和6年11月4日（月祝）
参加者：212人

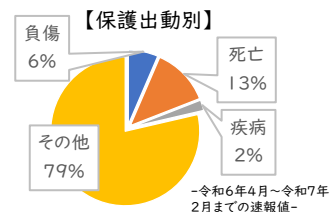


本シンポジウムでは、一般市民をはじめ奈良の鹿愛護会会員等の参加がありました。各講師の分かりやすく熱意ある講演をはじめ、パネルディスカッションでは、天然記念物「奈良のシカ」の生態・歴史・現状を専門的なお話も交え、今後「奈良のシカ」と共生するためには奈良公園来訪者に対する広報啓発が必要なこと、現在まで約1300年守り続けられた理由、遺伝子学的にも証明されたこと、奈良の鹿愛護会の活動等も専門的立場からディスカッションされ、参加者とともに共有しました。

「奈良のシカ」を守る

○保護活動の現況

車両との衝突事故等により救護を必要とする傷病鹿は後を絶ちません。引き続き保護活動の強化を続けてまいります。



○オス鹿を守る活動

発情したオス鹿を守るため、他団体と協力し、【角鹿<嚴重>注意!】として、除角及び人への注意喚起を行いました。

【除角数：469頭】



伝統行事の保存継承

奈良の人々と奈良公園のシカとの共生の中で生まれた奈良ならではの伝統文化を、次世代に保存継承していくための活動を行っています。

【令和6年鹿の角きり】

日程：10月開催
（3日間）
観覧者：4,955人



【鹿寄せ】

※令和6年4月～7年2月速報値
実施回数：110回
観覧者数：9,712人



環境を守る～生息環境保全活動～

この生息環境保全活動を継続することで、シカを守る皆様の想いがより多くの方に届き、奈良公園のシカの保護活動へとつながっていくことを願っています。

- ・車両との交通事故防止のリーフレット配布
- ・美鹿パトロール隊による生息環境の美化
- ・鹿の生息環境の美化啓発
- ・クリーンアップならディアパークの開催



【美鹿パトロール隊】



【クリーンアップ参加者の皆様】



3. 鹿苑（ろくえん）

◆ 奈良のシカの保護拠点から

鹿苑は、天然記念物「奈良のシカ」の保護育成のため、傷病シカの保護をはじめ、季節など応じたシカの保護、トラブル対策に必要な保護を行う拠点施設です。

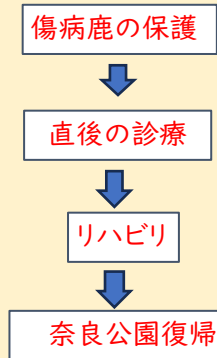
鹿苑では、現在、老朽化等に伴い、施設環境の改善に向けた改修工事を奈良県主体で行っており、今後、整備されたのちには、新たな保護施設として生まれ変わる予定です。



【鹿苑の役割】

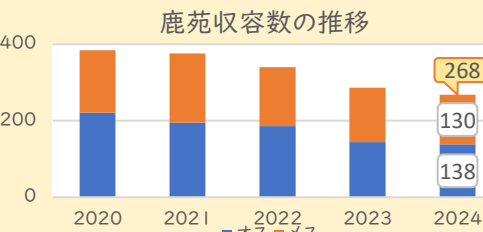


【保護体制】 ※一例



※「鹿苑（ろくえん）」とは

昭和 4(1929)年にシカの保護収容施設として開設。総面積は15,760 m²、うちシカの収容施設部分は、14,226 m²。
他に、角きり場や管理施設が併設。



◆ 『鹿苑改修工事レポート Vol.3』

鹿苑改修工事は、現在、鹿苑の北側エリアの植栽工事等を引き続き実施しています。
通年行っております「鹿苑一般公開」は工事の影響で公開を

狭めています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

4. 現状と課題

◆ ～保護収容環境の改善への取り組み～

奈良の鹿愛護会は、設立以来、傷病を負った「奈良のシカ」を救護して奈良公園への復帰に取り組んでおり、5年度（2023）は、保護出動回数は886回を数えました。そのうち、約100頭ほどを救護し、近年はほぼ横ばいで推移しております。残念ながら、救護したシカのうち半数近くは死亡してしまいますが、残りは回復します。救護したシカ全体に対し、昨年度内（2023）に奈良公園に復帰した割合は37.6％となっています。また、一方では、「奈良のシカ」を取り巻く状況の変化で、公園内では、車両との衝突事故をはじめ、シカと人との近づきすぎによるトラブル、プラスチックごみ類、愛玩動物とのトラブルなどが挙げられます。

公園外では、外部のシカの増加による奈良公園のシカ個体群の独自性が脅かされており、農林業に対しての被害などの問題も深刻となっています。

このような状況下で、救護した「奈良のシカ」は、傷病個体の健康状態に応じて別々の区画に分けて保護しています。特に傷ついて救護されたシカは、普段の状態と違い、細やかなケアが必要なため、細心の注意を払いながら素早く必要な検査や処置を行っています。また、傷病個体の回復状態等に配慮しながら環境を整えています。救護個体の回復状況を毎日確認しながら、一刻も早く奈良公園に復帰できるよう奮闘しています。

衛生環境の確保・適切な給餌



行動・健康観察の強化



【骨折療養中の救護鹿】
（令和7年3月12日現在）

適切な保護環境の確保・安全対策



データ収集、報告、分析利用の改善



5. 生息環境保全活動

◆ 『美鹿（びか）の会 活動報告』

奈良公園内にはゴミ箱が設置されていません。観光客の方から清掃作業中「ゴミ箱はどこですか？」とたずねられます。その時は『ゴミの持ち帰り』をお願いしています。海外の方にも英語や中国語で書いた案内カードを見せてお願いしています。
お願いを伝えた方の反応は様々です。作業スタッフ（障がい者）は皆さまから温かいご理解を頂いた時、「わかってくれた!」喜び、人の役に立ち感謝されるのが嬉しく、やりがいある仕事を通じて、

私たちの人生を充実させ、成長にもつながっています。
「たかがゴミ、されどゴミ」。有害ゴミが鹿の『いのち』をおびやかしています。ゴミがなければ、私たちと同じように安心して元気に暮らすことができます。



【奈良市手をつなぐ親の会・奈良美鹿の会 ちいさな小枝】



6. 関係機関との協働啓発活動

◆ 『鹿サポーターズクラブの活動報告』

ボランティア会員さんによる公園パトロールや愛護会の行事支援、鹿苑ボランティア等の活動に加え、2024年度からは奈良県や愛護会と協力して啓発ポスターやデジタルサイネージの制作、バスターミナルに設置されたゴミ箱のデザイン提案も行いました。鹿と人の共生のために広い視野をもって会員さんとともに学び、考え、行動する団体であることを目指しています。

【鹿サポーターズクラブ事務局】



◆ 『奈良公園のシカ相談室活動報告』

シカ相談室は鹿の出産シーズンを迎えるにあたり啓発の準備に動んでいます。子鹿を触らない、母鹿に近付かない等を啓発する為のポスターや看板の作成、掲示場所の検討など作業はたくさんあって大変ですが、鹿と人との共生のため奮闘しています。

例年、出産期の母鹿に攻撃され怪我をする事故が発生しています。奈良公園にお越しの際は鹿との事故にお気を付けください。

【奈良公園のシカ相談室】

